

学習内容一覧表

1章 式の計算	2
2章 連立方程式	4
3章 1次関数	6
4章 平行と合同	8
5章 三角形と四角形	10
6章 確率	12
7章 データの比較（補助教材）	13

本資料は、令和2年度用教科書「新編 新しい数学 2」及び「移行用補助教材 2019年度第1学年用／2020年度第2学年用」に基づいて、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。

学校の授業以外の場において取り組む学習活動をできるだけ多く取り入れる場合を想定して示した一例ですので、地域や学校、学級の状況に合わせて、本資料を参考に、学校の授業以外の場において取り組む学習活動についてご検討、ご判断ください。

学校の授業以外の場での学習に関する指導上の留意事項

※1は、学校での授業の限られた時間で「Q 考えてみよう・調べてみよう・説明してみよう・みなおしてひろげよう」に取り組むために、予習において学習の見通しをもって授業に臨めるよう工夫することが望まれます。〔Dマークコンテンツ〕の記載のある箇所では、以下のURLからインターネットに接続し、該当するデジタルコンテンツを活用して、効果的に学習を進めることができます（★マークの箇所）。

https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/spl/hl_support/chu/

※2は、巻末の解答で答え合わせをし、間違った問題やわからない問題については、「基本の問題」側注の関連する本文の例に戻って確認することで、効果的に学習を進めることができます。

※3は、生徒の習熟の程度によって学習状況に差が生じることが予想されるため、学校での授業において個に応じた指導を行うなど工夫することが望まれます。その場合、「章の問題B」の活用もご検討ください。

なお、「移行用補助教材 2019年度第1学年用／2020年度第2学年用」p.14「章の問題A」、p.15「章の問題B」の解答は、上記のURLからインターネットに接続し、参照することができます（◆マークの箇所）。

※4は、主体的・対話的で深い学びの実現をめざす学習活動であり、地域や学校、学級の状況を踏まえながら、学校での授業で重点化して取り組めるよう工夫することが望まれます。

1章 式の計算

(配当時間／15 時間：学校の授業／11.9 時間，学校の授業以外の場での学習／3.1 時間)

節	項	学習内容	用語・記号	配当時数 (そのうち授業が必要な時数)	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動
1 式の計算	①単項式と多項式	スタート地点の差は何m? ○文字を使った式を，項の数やかけられている文字の個数に着目して調べてみよう ・単項式，多項式，項の意味 ・単項式と多項式の次数の意味 ・1次式の意味	単項式，多項式，項，次数，1次式	2 (1.3)	予習で，p.8～9の「Q考えてみよう」について，教科書の図を見て考えて，求め方や結果，わからなかったこと，疑問に思ったことなどをノートにまとめ，学習内容の見通しをもって授業に臨む。 [Dマークコンテンツ]「トラックの長さ」を活用させ，解決の手がかりとさせてもよい。 ※1 ★ 【0.7時間】
	②多項式の計算	○多項式の加法や減法について考えてみよう ・同類項の意味 ・同類項をまとめる計算をすること ・多項式どうしの加法と減法を計算すること ○多項式と数の乗法や除法について考えてみよう ・多項式と数との乗法と除法を計算すること ○いろいろな式の計算を考えてみよう ・多項式のいろいろな計算をすること	同類項	3 (3)	
	③単項式の乗法と除法	○単項式の乗法や除法について考えてみよう ・単項式どうしの乗法を計算すること ・単項式どうしの除法を計算すること ○乗法と除法の混じった式の計算を考えてみよう ・乗法と除法の混じった式を計算すること		2 (2)	
	④式の値	○式の値を簡単に求めるには，どうすればよいか考えてみよう ・文字を2つふくむ式の値を求めること ・式を簡単にしてから式の値を求めること		1 (1)	
	基本の問題			1 (0.3)	p.20の「基本の問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組み，答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※2 【0.7時間】
2 文字式の利用	①式による説明	○文字を使った式を利用して，いろいろなことから説明してみよう ・カレンダーの数の並びについて，いろいろな性質をみつけて説明すること ・文字を用いた式を利用して，整数の性質を説明すること		2 (1.7)	予習で，p.21の「Q調べてみよう」について，調べた結果から成り立つ性質を予想してノートにまとめ，学習内容の見通しをもって授業に臨む。※1 【0.3時間】
	学び合い	数の並びで，いろいろな性質をみつけよう		1 (1)	※4

②等式の変形	○目的に応じて式を変形することについて考えてみよう ・等式を変形することの意味 ・等式を変形すること		1 (1)	
数学のまど	昭和から西暦を求めるには？		—	
基本の問題			1 (0.3)	p. 27 の「基本の問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組み、答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※2 【0.7時間】
数学のまど	2つの奇数の表し方		—	
章の問題 A			1 (0.3)	p. 28 の「章の問題A」を学校の授業以外の場での学習で取り組み、答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※3 【0.7時間】
章の問題 B			—	
数学マイノート			—	

2章 連立方程式

(配当時間／14 時間：学校の授業／10.7 時間，学校の授業以外の場での学習／3.3 時間)

節	項	学習内容	用語・記号	配当時数 (そのうち授業が必要な時数)	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動
1 連立方程式とその解き方	①連立方程式とその解	決めたシュートの本数は？ ○2つの文字をふくむ方程式について考えてみよう ・2元1次方程式とその解の意味 ◇連立方程式とその解 ・連立方程式の意味 ・連立方程式の解の意味 ・連立方程式を解くことの意味	2元1次方程式， (2元1次方程式の)解， 連立方程式， (連立方程式の)解， (連立方程式を)解く	2 (1.3)	予習で，p.32～33の「Q考えてみよう」について，教科書を読んで考え，求め方や結果，わからなかったこと，気づいたことなどをノートにまとめ，学習内容の見通しをもって授業に臨む。※1 【0.7時間】
	②連立方程式の解き方	○連立方程式を解くにはどうしたらよいか考えてみよう ○2つの方程式から，文字を1つだけふくむ方程式をつくる方法を考えてみよう ◇加減法 ・連立方程式の加減法による解き方を考えること ・絶対値の等しい係数がふくまれる連立方程式を解くこと ・消去することの意味 ・係数が異なる場合の連立方程式を解くこと ・加減法の意味 ◇代入法 ・連立方程式の代入法による解き方を考えること ・代入法で連立方程式を解くこと ・連立方程式を適当な方法で解くこと	消去する， 加減法， 代入法	3 (3)	
	③いろいろな連立方程式	○いろいろな連立方程式をくふうして解いてみよう ・かっこをふくむ連立方程式を解くこと ・小数係数，分数係数をもつ連立方程式を解くこと ・ $A=B=C$ の形をした連立方程式を解くこと ・連立方程式の解の値から方程式の係数を求めること		2 (2)	
	基本の問題			1 (0.3)	p.44の「基本の問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組み，答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※2 【0.7時間】
	数学のまど	バナナ1ふさとつり合うのは？		—	

2 連立方程式の利用	①連立方程式の利用	<p>バラとガーベラの本数は？</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な問題を，連立方程式を利用して解決するときの考え方の手順 <p>○連立方程式を利用して，いろいろな問題を解決してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 速さの問題を，連立方程式を利用して解決すること 割合の問題を，連立方程式を利用して解決すること 		4 (3.5)	<p>予習で，p. 45 の「Q 考えてみよう」について，求め方や結果，わからなかったこと，疑問に思ったことなどをノートにまとめ，学習内容の見通しをもって授業に臨む。※1</p> <p>【0.5 時間】</p>
	基本の問題			1 (0.3)	<p>p. 50 の「基本の問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組み，答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※2</p> <p>【0.7 時間】</p>
	やってみよう	文字が3つの連立方程式		—	
章の問題 A				1 (0.3)	<p>p. 51 の「章の問題 A」を学校の授業以外の場での学習で取り組み，答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※3</p> <p>【0.7 時間】</p>
章の問題 B				—	
数学のまど	鶴亀算			—	

3章 1次関数

(配当時間／20 時間：学校の授業／16.5 時間，学校の授業以外の場での学習／3.5 時間)

節	項	学習内容	用語・記号	配当時数 (そのうち授業が必要な時数)	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動
1 1次関数	① 1次関数	<p>どちらが先に沸くかな？</p> <p>○$y=ax+b$ という式で表される x と y の関係について考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数の意味 ・y を x の式で表して，y は x の1次関数であるかどうかを調べること ・比例は1次関数の特別な場合であること ・反比例は1次関数ではないこと 	y は x の1次関数である	2 (1.3)	予習で，p. 54～55 の「Q 調べてみよう」について，表やグラフを用いて水の温度の上がり方を調べ，わかったことや気づいたことなどをノートにまとめ，学習内容の見通しをもって授業に臨む。※1 【0.7 時間】
	② 1次関数の値の変化	<p>○1次関数の値の変化について調べてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化の割合の意味 ・1次関数 $y=ax+b$ では，変化の割合は一定で，a に等しいこと ・1次関数では，y の増加量は x の増加量に比例すること ・具体的な事象における変化の割合の意味 ・反比例では，変化の割合は一定ではないこと 	変化の割合	1 (1)	
	③ 1次関数のグラフ	<p>○1次関数のグラフの特徴を調べてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数のグラフがどんなグラフになるかを調べること ・1次関数と比例のグラフの関係 <p>◇グラフの切片と傾き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフの切片と傾きの意味 ・1次関数における表，式，グラフの関係 ・1次関数の増減とグラフの特徴 ・具体的な事象における切片や傾きの意味 <p>○1次関数のグラフを，切片や傾きをもとにかいてみよう</p> <p>○1次関数のグラフをもとに，変域を調べてみよう</p>	切片，傾き	4 (4)	
	④ 1次関数を求めること	<p>○1次関数を求めるのに必要な条件と，求める方法について考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフの切片や傾きを読みとって，1次関数を求めること ・グラフの傾きと通る1点の座標から，1次関数を求めること ・グラフが通る2点の座標から，1次関数を求めること 		2 (2)	
	基本の問題				1 (0.3)

2 1次関数と方程式	①2元1次方程式のグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・2元1次方程式の解を座標とする点をとってグラフをかくこと ・2元1次方程式のグラフと1次関数のグラフの関係 ○2元1次方程式のグラフをかく方法を考えてみよう ○2元1次方程式 $ax+by=c$ で、 $a=0$ や $b=0$ の場合のグラフをかいてみよう	方程式のグラフ	3 (2.5)	予習で、p.72の「Q調べてみよう」について、表を完成させて図に点をかき入れ、どのようなグラフになるかを考えてノートにまとめ、学習内容の見通しをもって授業に臨む。※1 【0.5時間】
	②連立方程式とグラフ	○2つの2元1次方程式のグラフの交点の意味について考えてみよう <ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式の解をグラフから求めること ・グラフの交点の座標を、連立方程式を解いて求めること 		1 (0.8)	p.78の「基本の問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組み、答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※2 【0.2時間】
	基本の問題				
3 1次関数の利用	学び合い	飲み物はいつまで冷たく保てる？		1 (1)	※4
	①1次関数とみなすこと	○2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決してみよう		1 (1)	
	②1次関数のグラフの利用	○1次関数のグラフを利用して、問題を解決してみよう		1 (1)	
	③1次関数と図形	○図形の面積の変化について調べてみよう		1 (1)	
	基本の問題			1 (0.3)	p.85の「基本の問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組み、答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※2 【0.7時間】
数学のまど	ダイヤグラム			—	
章の問題A				1 (0.3)	p.87の「章の問題A」を学校の授業以外の場での学習で取り組み、答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※3 【0.7時間】
章の問題B				—	
レポートにまとめよう				—	

4章 平行と合同

(配当時間／16 時間：学校の授業／12.8 時間，学校の授業以外の場での学習／3.2 時間)

節	項	学習内容	用語・記号	配当時数 (そのうち授業が必要な時数)	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動
1	①多角形の角の和の説明	<p>角の性質の説明では何をもとにしているだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 多角形の内角の和をいろいろな方法で求めること <p>○説明でもとにしていることがらを考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 多角形の内角の和の求め方を，多角形をいろいろな方法で三角形に分けて考えること 多角形の表し方 多角形の外角と内角の意味 多角形の内角の和の性質 <p>○多角形の外角の和の求め方の説明を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 多角形の外角の和の性質 	外角, 内角	3 (2.3)	予習で, p. 90~91 の「Q みなおしてひろげよう」について, 多角形の内角の和を求めて, 自分の求め方の説明をノートにまとめ, 学習内容の見通しをもって授業に臨む。※1 【0.7 時間】
2	①平行線と角	<p>○2つの直線が交わってできる角について調べてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 対頂角の意味とその性質 対頂角の性質を用いて角の大きさを求めること <p>○2つの直線に1つの直線が交わってできる角について調べてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 同位角と錯角の意味 <p>◇平行線と同位角</p> <p>◇平行線と錯角</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行線の性質と平行線になるための条件 平行線の性質を利用して, 角の大きさを求めること 平行線になるための条件を利用して, 2直線の平行を判断すること 三角形の内角の和が 180° であることを証明すること 	対頂角, 同位角, 錯角, 証明	4 (3.8)	予習で, p. 95 の「Q みなおしてひろげよう」について, 小学校で三角形の内角の和が 180° であることを調べたときの根拠について, 自分の考えをノートにまとめ, 学習内容の見通しをもって授業に臨む。※1 【0.2 時間】
		<p>数学のまど 錯角と同側内角</p> <p>○平行線と角の性質をもとにして, 三角形の角の性質を説明してみよう</p> <p>◇証明</p> <ul style="list-style-type: none"> 証明の意味 <p>◇三角形の内角の和</p> <ul style="list-style-type: none"> 三角形の内角と外角の性質 三角形の内角と外角の性質を用いて三角形の内角や外角の大きさを求めること <p>◇多角形の内角と外角</p> <ul style="list-style-type: none"> 多角形の内角や外角の大きさを求めること 			
	学び合い	角の大きさを求める方法を考えてみよう		1 (1)	※4

	基本の問題			1 (0.3)	p. 106 の「基本の問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組み、答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※2 【0.7時間】
3 合同な図形	①合同な図形の性質と表し方	○合同な図形の性質と表し方を知ろう ・図形の合同の意味 ・合同な図形の対応する線分や対応する角の関係 ・合同な図形の性質 ・合同な図形を記号を使って表すこと	合同, ≡	1 (0.8)	予習で, p. 107 の「Q 説明してみよう」について, 移動の方法を考えてノートにまとめ, 学習内容の見直しをもって授業に臨む。※1 【0.2時間】
	②三角形の合同条件	○2つの三角形が合同かどうかを判断する方法を考えてみよう ・合同な三角形をかく方法を考えること ・三角形の合同条件 ・三角形の合同を, 合同条件から判断すること ○三角形の合同条件を利用した証明を考えてみよう ・三角形の合同条件を利用して, 図形の性質を証明すること		2 (2)	
	③証明のすすめ方	○根拠を明らかにして説明しよう ・仮定と結論の意味 ・根拠となることがらを明らかにして図形の性質を証明すること ・証明のすじ道を考え, 根拠となることがらをいうこと ・根拠となることがらのまとめ	仮定, 結論	2 (2)	
	基本の問題			1 (0.3)	p. 118 の「基本の問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組み, 答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※2 【0.7時間】
章の問題 A			1 (0.3)	p. 119 の「章の問題A」を学校の授業以外の場での学習で取り組み, 答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※3 【0.7時間】	
章の問題 B			—		
数学のまど	角の和を求めてみよう		—		

5章 三角形と四角形

(配当時間／20 時間：学校の授業／17.0 時間，学校の授業以外の場での学習／3.0 時間)

節	項	学習内容	用語・記号	配当時数 (そのうち授業が必要な時数)	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動
1 三角形	①二等辺三角形の性質	<p>直角ができるのはなぜ？</p> <p>○根拠を考えて二等辺三角形の性質を証明してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義の意味 ・二等辺三角形の定義 ・二等辺三角形の底角の性質 ・二等辺三角形の頂角，底辺，底角の意味 ・定理の意味 ・二等辺三角形の底角の性質を用いて二等辺三角形の角の大きさを求めること ・鋭角，鈍角の意味 ・二等辺三角形の頂角の二等分線の性質 <p>◇正三角形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正三角形の定義と正三角形の内角の性質 	定義，頂角，底辺，底角，定理	3 (2.3)	予習で，p. 122～123 の「Q 調べてみよう」について，手順にしたがって実際に作図をし，直角ができることを確かめ，その理由を考えてノートにまとめ，学習内容の見通しをもって授業に臨む。※1 【0.7 時間】
	②二等辺三角形になるための条件	<p>○三角形にどんな条件が加わると二等辺三角形になるか考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形になるための条件 ・二等辺三角形になるための条件を利用して，図形の性質を証明すること <p>◇定理の逆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定理の逆の意味 ・反例の意味 	逆，反例	2 (2)	
	③直角三角形の合同	<p>○2つの直角三角形はどんなときに合同であるか考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斜辺の意味 ・直角三角形の合同条件 ・直角三角形の合同を，合同条件から判断すること <p>○直角三角形の合同条件を利用して，いろいろな図形の性質を証明してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形の合同条件を利用して，図形の性質を証明すること ・三角形の内角の二等分線の性質 	斜辺	2 (2)	
	基本の問題				1 (0.3)

2 平行四辺形	①平行四辺形の性質	<p>○平行四辺形の定義をもとに、平行四辺形の性質を証明してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角形の対辺、対角の意味 ・平行四辺形の定義と平行四辺形の表し方 ・平行四辺形の性質 ・平行四辺形の性質を利用して、平行四辺形の角の大きさや辺の長さを求めること <p>○平行四辺形の性質を使って、図形のいろいろな性質を証明してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明すること 	対辺, 対角, $\square ABCD$	3 (2.8)	予習で、p.136の「Q調べてみよう」について、教科書の図を見て、どんな図形になるか、その理由も考えてノートにまとめ、学習内容の見直しをもって授業に臨む。※1 【0.2時間】
	②平行四辺形になるための条件	<p>○四角形にどんな条件が加わると平行四辺形になるか考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗り物で、人の乗る面がいつも水平になるわけを考えること ・平行四辺形になるための条件 ・平行四辺形になるための条件を利用して、平行四辺形であるかどうかを判断すること <p>○平行四辺形になるための条件を使って、図形のいろいろな性質を証明してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形になるための条件を利用して、図形の性質を証明すること 		4 (4)	
	③特別な平行四辺形	<p>○長方形、ひし形、正方形と、平行四辺形との関係を考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長方形、ひし形の定義 ・正方形の定義と性質 <p>◇対角線の性質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長方形、ひし形の性質 ・直角三角形の斜辺の midpoint の性質 ・ことがらの反例をあげること ・長方形、ひし形、正方形になるための条件 		2 (2)	
	数学のまど	からくり人形とリンク装置		—	
	④平行線と面積	<p>○多角形の面積を変えずに、平行線の性質を使って形を変えることを考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行線間の距離 ・底辺を共有し、底辺に平行な直線上に頂点をもつ三角形の面積は等しいこと ・高さの等しい三角形の面積の比は底辺の比に等しいこと ・面積を変えないで多角形を変形すること 		1 (1)	
	基本の問題			1 (0.3)	p.150の「基本の問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組み、答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※2 【0.7時間】
章の問題A			1 (0.3)	p.151の「章の問題A」を学校の授業以外の場での学習で取り組み、答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※3 【0.7時間】	
章の問題B			—		
数学のまど	2つの正三角形		—		

6章 確率

(配当時間／9 時間：学校の授業／7.1 時間，学校の授業以外の場での学習／1.9 時間)

節	項	学習内容	用語・記号	配当時数 (そのうち授業が必要な時数)	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動
1 確率	①ことがらの起こりやすさ	<p>どちらを選ぶ？</p> <p>○ことがらの起こりやすさを，実験をもとにして調べてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 確率の意味 ・ 多数回の実験や観察の結果から確率を考えること 	確率	2 (1.5)	<p>予習で，p. 156～157 の「Q 説明してみよう」について，A 社と B 社のどちらを選ぶか，その理由も考えてノートにまとめ，学習内容の見通しをもって授業に臨む。※1</p> <p>【0.5 時間】</p>
	数学のまど	女子の生まれる確率		—	
	②確率とその求め方	<p>○確率を実験や観察によらないで求めることはできないか考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同様に確からしいことの意味 ・ 場合の数から，計算によって確率を求めること ・ あることがらの確率を求める手順 ・ 確率 p の範囲が $0 \leq p \leq 1$ であること <p>○起こりうる場合を図や表を利用して全部あげ，確率を求めてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 起こりうる場合を，表や樹形図を利用して全部あげ，確率を求めること 	同様に確からしい，樹形図	2 (2)	
	③いろいろな確率	<p>○いろいろななくふうをして，確率を求めてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな確率の求め方 <p>○あることがらの起こらない確率について考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あることがらの起こらない確率の求め方 		2 (2)	
	④確率による説明	<p>○ことがらの起こりやすさを，確率をもとにして説明してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ くじびきの順番と当たりやすさの関係について調べること ・ スクラッチカードの出やすさについて説明すること 		1 (1)	
	数学のまど	将棋と囲碁の先手の決め方		—	
	基本の問題			1 (0.3)	<p>p. 170 の「基本の問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組み，答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※2</p> <p>【0.7 時間】</p>
	数学のまど	天気予報のしくみ		—	
	章の問題 A			1 (0.3)	<p>p. 172 の「章の問題 A」を学校の授業以外の場での学習で取り組み，答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。※3</p> <p>【0.7 時間】</p>
章の問題 B			—		
数学のまど	「モンティ・ホール問題」		—		

7章 データの比較 (「移行用補助教材 2020 年度第 2 学年用」で追加する内容)

(配当時間／4 時間：学校の授業／3 時間，学校の授業以外の場での学習／1 時間)

項	学習内容	用語・記号	配当時間 (そのうち授業が必要な時間)	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動
四分位範囲と箱ひげ図 (補助教材 p. 8～15)	<p>どのクラスが優勝するかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数のデータの分布の傾向を，ヒストグラムや代表値を用いて比較すること <p>○複数のデータの分布を比較する方法について考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 箱ひげ図と四分位数，四分位範囲の意味 四分位数を求めて，箱ひげ図をかくこと 箱ひげ図を用いて，複数のデータの分布の傾向を比較して読みとること <p>○ヒストグラムと箱ひげ図を対応させて考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムと箱ひげ図を対応させて，それぞれのよさやちがいを考えること 箱ひげ図や四分位範囲の必要性 箱ひげ図の形とヒストグラムのおおよその形の関係 <p>○箱ひげ図を用いて，データの分布の傾向を比較して判断しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 箱ひげ図を用いて，複数のデータの分布の傾向を比較して読みとり，説明すること 多様な統計的な表現を用いて，自分の判断を多面的に吟味し，修正すること 	箱ひげ図，四分位数，第 1 四分位数，第 2 四分位数，第 3 四分位数，四分位範囲	3 (2.7)	予習で，補助教材 p. 8～9 の「Q 考えてみよう」について，1 組から 4 組のヒストグラムを比べてわかったことなどをノートにまとめ，学習内容の見通しをもって授業に臨む。※1 【0.3 時間】
章の問題 A			1 (0.3)	補助教材 p. 14 の「章の問題 A」を学校の授業以外の場での学習で取り組み，答え合わせもする。わからない問題があれば授業で解決する。 ※3 ◆ 【0.7 時間】
章の問題 B			—	